

保土谷化学グループのグローバル展開

海外拠点の拡充を進め、グローバルなお客様のニーズにお応えします

保土谷化学グループは、グローバルなお客様の多様なニーズにお応えするために、海外拠点の拡充を進めております。主力市場である北米・欧州・中国ではすでに現地法人を設立しており、また有機EL材料の分野では、高い技術力を有する韓国の企業に出資し、潜在力の高いアジア地域でのニーズにスピーディーに対応できる、「開発」「生産」「販売」の三位一体の体制を整えております。

日本から海外への輸出拡大と海外拠点の拡充に取り組んできた結果、トナー用電荷制御剤等のイメージング材料に加え、モバイル機器等へのアルミ着色用染料等、海外向け売上高は着実に増加してきました。また、有機EL製品の用途拡大とともに保土谷化学の有機EL材料の

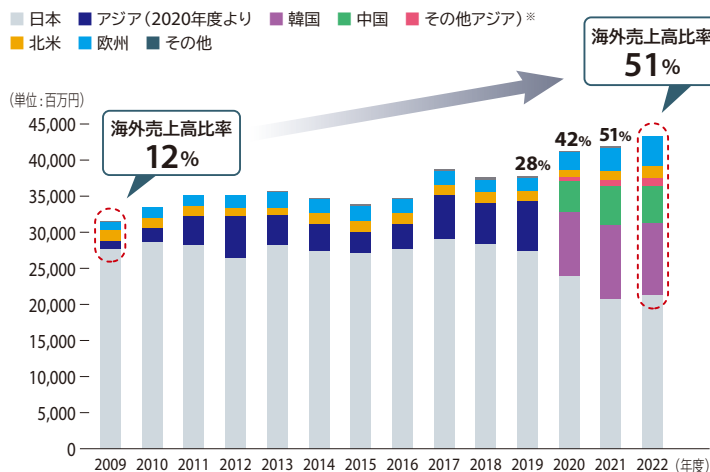
販売も堅調に推移し、コロナ禍の2020年度より、有機EL材料の応用技術として韓国子会社にて独自開発したPCR診断キット用材料の拡販が実現いたしました。さらには、バイオ原料を使用し、環境に配慮した製品として注力しているウレタン原料や剥離剤等の樹脂材料、ホスゲン誘導体等の特殊化学品が好調に推移し、保土谷化学グループの海外売上高比率は51%となっております。

今後もあらゆる分野で「独自の技術力」や「グローバルなネットワーク」を活かしながら、常に高品質の製品やサービスを提供して、国内外のお客様のニーズに応えてまいります。

【韓国事業戦略室】

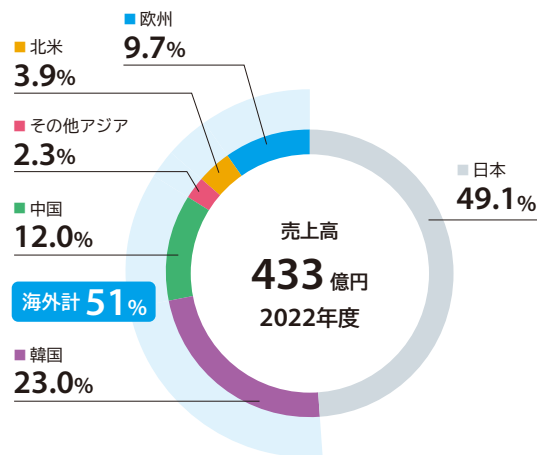
グループ全体として韓国事業の重要性が高まるなか、「韓国におけるビジネス」のさらなる成長に向けた事業戦略の検討と推進を機動的かつ効率的に実行するべく、2023年7月1日付で「韓国事業戦略室」を新設いたしました。

保土谷化学グループ地域別売上高推移



※2019年度まで「アジア」に含めていた「韓国」および「中国」の売上高は、重要性が増したため2020年度より独立掲記しております。

保土谷化学グループ地域別売上高構成比



VOICE

サステナビリティの最先端から保土谷化学グループに貢献

私は事業推進部で事業の収益分析やプロジェクトの運営などに携わり、現在はドイツ/デュッセルドルフに拠点を置く「HODOGAYA CHEMICAL EUROPE GmbH」に勤務しています。営業活動もちろん大事ではありますが、欧州は環境やSDGsなどサステナビリティの最先端であるため、日本本社に役立つ情報をタイムリーに発信していくことを心掛けています。2022年度にはお客様からの要望を受け、外部評価機関であるEcoVadisに対応しシルバーメダルの評価を得ましたが、評価結果に加えて、EcoVadisに対応したことそのものをお客様に高く評価いただき、販売増加に寄与することができました。今後も、欧州から最先端の情報を発信していくとともに、保土谷化学グループのサステナビリティ向上に努めていきます。



HODOGAYA CHEMICAL EUROPE GmbH
蛭子井 純